



第196号

2022年7月1日発行

横浜 西だより

発行
(公社)神奈川労務安全衛生協会
横浜西支部 事務局
横浜市戸塚区吉田町631
元町清水ビル203号
TEL 045-864-5354
FAX 045-864-5022
編集
横浜西支部広報部会

新支部長ご挨拶

支部長

小西 将史



株式会社プリチストン横浜工場の小西でございます。
2022年度通常総会におきまして会員皆様方のご承認をいただき、2年間横浜西支部の支部長を務めさせていただきましたことになりました。どうぞよろしくお申し上げます。

最初に、この2年間支部長を務められました前任の住友電気工業株式会社横浜製作所 大井川様、また各部会の役員として当協会の運営にご尽力いただきました皆様に対し、深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、本年は、「第13次労働災害防止推進計画」5カ年計画の最終年となります。

本日第4号議案にて、ご審議、ご承認いただきました事業計画を着実に推進し、会員事業場様のニーズに合った

労務管理・安全衛生諸活動の向上に取り組むことにより、微力ながら会員事業場様のお役に立てればと存じます。また、そのような活動が、新規会員の拡大にもつながれば幸いに存じます。

これまでも増して会員事業場様のご協力と、横浜西労働基準監督署並びに協会本部のご指導を賜りながら、支部運営活動に取り組んでいく所存ですので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

結びに、会員事業場様のますますのご発展と皆様方のご安全を祈念申し上げ、支部長就任の挨拶とさせていただきます。

新年度監督署長ご挨拶

横浜西労働基準監督署
署長

荻野 憲一



横浜西労働基準監督署長の荻野憲一です。

昨年4月に着任し、2年目になります。

神奈川労務安全衛生協会横浜西支部及び会員企業の皆様におかれましては、日頃から、労働基準行政及び当監督署の業務運営に関し、深いご理解と多岐にわたるご協力を賜り、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

さて、現下の社会情勢について申し上げますと、3月21日をもって全国的に新型コロナウイルス感染症にかかる「まん延防止等重点措置」が解除され、行動制限が取り払われました。監督署の業務もほぼ通常ベースに戻ったところです。

しかし、現在の状況は、緊急事態宣言下にあった昨年と同じ時期に比して10倍近い感染者数となっており、決して楽観できるものではありません。感染防止対策には引き続きご留意をお願いいたします。

さて、昨年の当署管内の労働災害の発生状況は、同感

染症災害を除いたとしても大幅な増加を示し、今年に入ってから同様の増加傾向が続いております。

労働災害防止につきましては、今年が「第13次労働災害防止推進（5カ年）計画」の最終年に当たりますので、働き方改革の推進と併せ、今年度の重点施策として取り組みを強化しているところです。

特に、全業種にわたり死傷者数が最多である転倒災害の防止に努めていただくとともに、時節柄、熱中症予防対策にもご留意ください。

まだまだ厳しい状況が続いていますが、署員一同、小西新支部長をはじめとする貴支部及び会員企業の皆様と力を合わせて各施策を実現していきたいと意気込んでおります。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸、また、世界恒久平和をお祈り申し上げ、新年度の挨拶とさせていただきます。

2022年度 通常総会開催される



小西新支部長



荻野監督署長

「2022年度 通常総会」は、去る5月19日（木）鎌倉芸術館3階集会室において、会員総数205事業場のうち、出席21事業場、委任状92事業場、計113事業場の参加のもと開催されました。

高橋氏（日本アビオニクス株式会社横浜事業所）の司会進行により、田村氏（株式会社ニコン横浜製作所）から総会成立宣言（定足数報告）が冒頭に行われた後、黒田副支部長（株式会社タツノ横浜工場）による開会の辞により通常総会が始まりました。大井川支部長（住友電気工業株式会社横浜製作所）からの挨拶では、「新型コロナウイルス感染拡大の影響による大きな制約を受け多くの行事の中止・縮小を余儀なくされたが、安全を第一に考え工夫しながら地道に活動を進めることができた。2022年度も事業計画が変更となる可能性もあると思うが、安全な職場づくりのために支部の活動を推進していく必要がある」との挨拶がありました。

議事に先立ち、議長に田中氏（タカナシ乳業株式会社）を選出、書記に久良知氏（株式会社啓愛社自動車部品事業部）並びに小野氏（株式会社日産クリエイティブサービス）を任命し、議事に入りました。【第1号議案:2021年度事業報告】、【第2号議案:2021年度収支決算報告】では、飯島事務局長より主な活動内容の報告があり、安全・衛生に関する法定教育、能力向上教育を実施し、中でも新規に本部・藤沢支部との共催事業として技能講習を実施したほか、支部広報誌「横浜西だより」の発行、藤沢支部との提携講習会を複数回実施したことなどについて報告がありました。また支部開催の講習会、研修会は延べ18回（前年12回）と微増したものの、会社都合により8事業場が退会するなど、支部を運営する財政が厳しい環境にある旨、報告がありました。

更に【第3号議案:会計監査報告】、【第4号議案:2022年度事業計画（案）】、【第5号議案:2022年度収支予算（案）】、【第6号議案:役員改選（案）】が提案され、いずれも満場一致で承認され本通常総会の審議が無事終了しました。

続いて、小西新支部長（株式会社ブリヂストン横浜工場）の挨拶があり、「承認された2022年度事業計画に従い、労働基準監督署および各会員事業場の皆様の協力を得ながら着実に支部の活動を推進していきたい」旨、挨拶がありました。引き続き来賓としてご参加いただいた横浜西労働基準監督署 荻野署長、並びに公益社団法人神奈川労務安全衛生協会 古屋専務理事からそれぞれお言葉を頂戴しました。最後に秋山新副支部長（株式会社日立製作所デジタルシステム&サービス横浜事業所）による閉会の辞があり、通常総会は無事に終了しました。

（株式会社日立製作所 デジタルシステム&サービス
横浜事業所 高橋 昌也）



大井川前支部長

2022年度 全国安全週間横浜西地区推進大会



荻野監督署長



伊地知安全衛生課長

6月6日(月)、横浜西地区労働災害防止団体連絡協議会主催による令和4年度「全国安全週間横浜西地区推進大会」は、コロナ対策としてソーシャルディスタンス(マスク着用、受付での検温、手の消毒実施、着座は一つ空け、換気の徹底)を守った上で保土ヶ谷公会堂にて開催されました。横浜西労働基準監督署より荻野署長、伊地知安全衛生課長のご出席を賜り、本年度のスローガン「安全は 急がず 焦らず 怠らず」のもと、開催されました。大会の冒頭、横浜西地区産業において労働災害で亡くなられた方々に黙祷を捧げた後、建設業労働災害防止協会横浜西分会の水村副分会長より開会宣言がありました。続いて主催者を代表して同協会工藤分会長よりご挨拶がありました。次に荻野署長より、本年は「第13次労働災害防止推進(5カ年)計画」の最終年度で「死傷災害571人以下」目標達成に向けて総仕上げの段階でしたが、令和3年の休業4日以上「死傷災害」は転倒災害や動作の反動、無理な動作による災害、コロナウイルス感染症の罹患による労働災害の増加で893人と大きく上回っており「死亡災害」も増加となりました。令和4年に入ってもこの傾向が続いており、ここで何とかして歯止めをかけなくてはなりません。そのためには、今回のスローガンのもと、労働災害防止のための努力を足元から地道に、怠ることなく積み重ねていくことが大切であり、「全国安全週間」を契機に職場の労働災害防止の重要性を再認識して頂き、特に「転倒」等行動災害防止に留意し災害防止活動の継続的取組みと、着実に実行する機会として頂きたいとお話がありました。

引き続き、各災害防止団体より企業等及び個人への表彰が行われました。建設業労働災害防止協会横浜西分会からは、優良企業賞1事業場、優良工事現場5事業場、功績賞2名、功労賞5名が工藤分会長より、(公社)神奈川労働安全衛生協会横浜西支部からは、無災害優良事業場表彰2事業場、安全功労者賞1名が小西支部長より、神奈川県タクシー協会横浜支部からは、無災害優良事業場表彰1事業場が益田西ブロック長よりそれぞれ授与されました。

続いて、伊地知安全衛生課長より全国安全週間の趣旨及び実施要綱について詳細な説明がありました。全国安全週間は「人命の尊重」の基本理念の下、本年で第95回を数え、「自主的な労働災害防止活動の推進」及び「安全意識の高揚と安全活動の定着」を図ることを目的としており、本スローガンは労働災害を防止するために、事業者、労働者双方が、労働災害防止のための基本ルールを徹底し、またそれらを遵守・実行するための時間的・人力的に余裕を持った業務体制を構築することが重要であることを説いたものとなっていること、その他労働災害のデータ、グラフによる説明を頂きました。

続いて、建設業労働災害防止協会横浜西分会の吉本氏より大会宣言の提案があり、採択されました。特別講演はコロナ禍に配慮し今年はありませんでした。最後に、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部横浜西分会の岩橋分会長による閉会の挨拶をもちまして、出席者一同、「安全週間」への決意を新たに大会は盛会裏の内に終了致しました。

(株式会社啓愛社 自動車部品事業部 人事総務部 久良知 秀郎)



安全功労者



無災害優良事業場

入会事業場紹介

新しく入会された事業場を紹介します。

2022年度会員入会事業場のご紹介

	事業場名	事業内容	所在地
①	株式会社ファンケル総合研究所	化粧品及び健康食品等の研究開発	横浜市戸塚区
②	日通横浜輸送株式会社	貨物自動車運送業	横浜市瀬谷区

新規会員募集

横浜西支部では、地域内(戸塚区、栄区、泉区、保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区)にある事業場で、当協会に未加入の事業場等に対して加入促進活動を行っております。

近隣で又は、お知り合いで未加入事業場がございましたら事務局まで是非ご紹介ください。

(事務局 TEL 045-864-5354 FAX 045-864-5022)

2022年度労働基準行政の重点

横浜西労働基準監督署

2022年度の神奈川労働局の行政運営方針を要約したものは以下のとおりです。
当署としては、本方針に基づき行政展開を図って参りますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 柔軟な働き方がしやすい環境整備

適正な労務管理下における「良質なテレワーク」の普及促進を図るため、テレワーク相談センター等が行う個別相談及びセミナーの案内、改定されたテレワークガイドラインを周知するとともに、中小企業事業主に対して、テレワークを導入し、雇用管理改善等に効果を上げた場



合に「人材確保等支援助成金（テレワークコース）」を支給する支援を行います。

2. 安全で健康に働くことができる職場づくり

(ア) 職場における感染防止対策等の推進

労働局健康課に設置した「職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策相談コーナー」において、企業・労働者の相談等に対応します。

「取組の5つのポイント」や「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」等を活用して、感染症防止の基本的事項の確認や職場の実態に即した実行可能な対策を促します。



(イ) 長時間労働の是正

生産性を高めながら労働時間の縮減等に取り組む事業者への労務管理等の支援を行います。

自動車運送事業、建設業など上限規制適用猶予業種・業務を対象に、労働時間法制度や取組事例を紹介する説明会を開催して自主的な取組を促進、支援します。

時間外・休日労働時間が月80時間を超えていると考えられる事業場、長時間にわたる過重な労働による過労死等の労災請求が行われた事業場に対する監督指導を実施します。

過労死等防止啓発月間等において、長時間労働の削減等過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発を行うとともに、民間団体の活動に対する支援等の対策を効果的に推進します。

長時間労働につながる取引環境の見直しに向け、関係省庁と連携して、下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止や下請法違反が疑われる事案への対応に努めます。

(ウ) 労働条件の確保・改善対策

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた企業に対する適切な労務管理に関する啓発指導等を実施します。

基本的労働条件の枠組み及び管理体制の確立、定着のために、労働基準関係法令の遵守の徹底を図るとともに、重大又は悪質な事案に対しては、司法処分も含め厳正に対処します。

**(エ) 県内の労働災害発生状況**

休業4日以上労働災害の死傷者数は、平成30年以降4年連続で増加しており、令和3年においても前年同月比で大幅な増加となっています。死亡者数は令和元年に最小となりましたが、令和3年は43件（令和4年2月末速報値）と前年同月比で7件増加しました。



死傷災害を業種別で見ると、小売業、社会福祉施設などの第三次産業、事故の型別では、転倒災害、腰痛（動作の反動・無理な動作）が多く発生しており、死亡災害等の重大災害と併せて対策が必要となっています。

(オ) 第13次労働災害防止推進計画重点業種等の労働災害防止対策の推進

労働災害が増加傾向にある第三次産業等については、安全推進者の配置やリスクアセスメントの普及の促進等を通じて、転倒災害防止対策や腰痛予防対策などの、企業の自主的な安全衛生活動の促進を図ります。

建設業については、墜落・転落災害防止対策など建設工事における労働災害防止対策の促進を図ります。

**(カ) 高齢者の特性に配慮した安全衛生対策を行う企業への支援**

休業4日以上労働災害のうち50歳以上の労働者に係る災害が全体の約半数を占めており、エイジフレンドリーガイドラインの周知を中心に一層の対策を講じることが必要です。

**(キ) 新たな化学物質の周知、石綿ばく露防止対策の徹底**

化学物質に関するラベル表示の徹底、安全データシート（SDS）の交付の徹底を促し、リスクアセスメントの実施及びその結果に基づく自律的な管理の規制への見直し等の周知を図り、理解を促します。

改正された特定化学物質予防規則（溶接ヒューム）及び石綿障害予防規則（事前調査結果報告の実施等）の周知・指導の徹底を図ります。

**(ク) 産業保健活動、メンタルヘルス対策の推進**

長時間労働やメンタルヘルス対策が各事業場で適切に実施されるよう産業医・産業保健機能の強化、医師による面接指導の実施、ストレスチェックの実施などについて引き続き指導等を行います。また、事業場の特性に応じた取組や事業者と医療保険者などが連携した健康保持増進対策が進められるよう「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」や産業保健関係助成金の周知を行います。



3. 総合的なハラスメント対策の推進

今年度より、中小企業においてもパワーハラスメント防止措置が義務化されたことを踏まえ、措置を講じていない事業主に対し厳正な指導を実施すること等により法の履行確保を図ります。

さらに、妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメントやセクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなど職場のハラスメントは複合的に生じることも多いため、総合的・一体的

なハラスメント防止対策の取組を支援します。



「総合労働相談コーナー」では、新型コロナウイルス感染症を理由とするいじめ・嫌がらせを含め、あらゆる労働問題に関して、労働局長の助言・指導、紛争調整委員会によるあっせん等により、丁寧に対応します。

4. 新型コロナウイルス感染症に係る的確な労災補償の実施

新型コロナ感染症に係る労災補償については、迅速かつ的確な調査及び決定を行います。また、労働者等からの相談があった場合におい

ては懇切丁寧に対応するとともに、事業場などに対し請求勧奨の実施について依頼を行います。

5. 最低賃金・賃金の引上げに向けた生産性向上等の推進

(ア) 最低賃金・賃金の引上げに向けた生産性向上等に取り組む企業への支援

最低賃金・賃金の引上げに向けて、業務改善助成金の充実により、業務改善や生産性向上に係るニーズに応え、賃金引上げを支援します。



(イ) 最低賃金制度の適切な運営

神奈川県最低賃金額について、あらゆる機会を捉えて広く周知を図り、最低賃金制度の適正な運営を行います。

最低賃金の件名	最低賃金額 (時間額)	効力発生年月日
神奈川県最低賃金	1,040円	令和3年10月1日

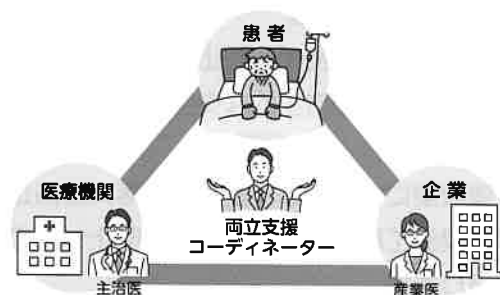
6. 治療と仕事の両立支援

(ア) 治療と仕事及び不妊治療と仕事の両立支援に関する取組の促進

産業保健総合支援センター等と連携し、「事業場における治療と仕事の両立支援のガイドライン」及び「企業・医療機関連携マニュアル」の周知と、不妊治療についても同様に「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」や「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」等の周知・啓発を行います。さらに、「神奈川県両立支援推進チーム」の活動を通して、両立支援に係る関係施策の取組の促進を図ります。

(イ) トライアングル型サポート体制の構築

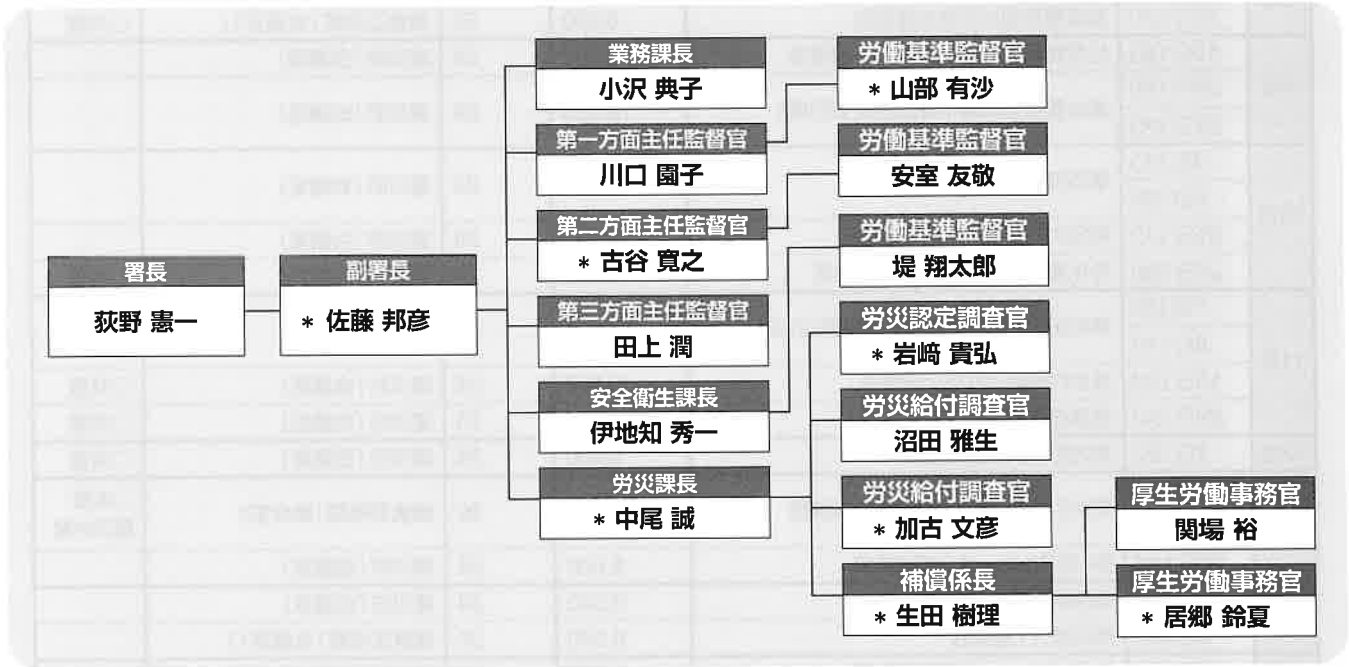
神奈川県産業保健総合支援センターと連携して、主治医、会社・産業医と患者に寄り添う両立支援コーディネーターのトライアングル型のサポート体制を推進します。



横浜西労働基準監督署インフォメーション

職員人事異動のお知らせ

令和4年4月1日の人事異動で、横浜西労働基準監督署の職員は次のとおりとなりましたので、紹介いたします。よろしくお願いいたします。（*が新任者です）



山崎製パン株式会社
 横浜第一工場
 執行役員工場長 近藤 康之

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
 TEL 045-822-0627

森紙業株式会社
 関東事業所
 事業所長 大町 智応

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町628番地
 TEL 045-822-7000

株式会社協同清美
 代表取締役社長 三澤 孝至

〒240-0035 横浜市保土ヶ谷区今井町859番地
 TEL 045-351-1111

ミドリ安全株式会社
 横浜南支店
 支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
 TEL 045-810-6235

2022年度 横浜西支部 主要行事予定

1. 講習会

開催日	講習の種類	会員受講料(円)	募集人員(名)	会場	備考
7月	7日(木) 第1回KYT講習会	8,500	42	鎌倉芸術館「会議室1」	
	15日(金) 有機溶剤作業主任者能力向上教育	9,500	24	建災防「会議室」	○共催
	22日(金) 職長能力向上教育	9,500	24	建災防「会議室」	
	27日(水) 特定化学物質等作業主任者技能講習	13,940	80	鎌倉芸術館「集会室」	□本部・藤沢共催
	28日(木)				
8月	2日(火) 第2回フルハーネス特別教育	8,500	24	建災防「会議室」	
	23日(火) 監督署等届出手続き講習会	6,000	30	鎌倉芸術館「会議室1」	○共催
9月	16日(金) 化学物質リスクアセスメント研修会	9,500	24	建災防「会議室」	
	26日(月) 衛生管理者試験準備講習会(2日間)	18,320	24	建災防「会議室」	
	27日(火)				
10月	4日(火) 第2回職長教育(2日間)	12,000	24	建災防「会議室」	
	5日(水)				
	25日(火) 第3回フルハーネス特別教育	8,500	24	建災防「会議室」	
	28日(金) 特化物作業主任者能力向上教育	9,500	24	建災防「会議室」	○共催
11月	7日(月) 第2回安全衛生推進者養成講習(2日間)	12,000	24	建災防「会議室」	
	8日(火)				
	15日(火) 挟まれ巻き込め防止研修会	6,500	24	建災防「会議室」	○共催
	29日(火) 産業保健研修会	4,300	24	建災防「会議室」	○共催
12月	7日(水) 第2回労務管理講習会	4,000	24	建災防「会議室」	○共催
1月	17日(火) 特定化学物質等作業主任者技能講習	13,940	80	鎌倉芸術館「集会室」	□本部・藤沢共催
	18日(水)				
	25日(水) 第4回フルハーネス特別教育	8,500	24	建災防「会議室」	
2月	3日(金) 職長能力向上教育	9,500	24	建災防「会議室」	
	9日(木) 第2回KYT講習会	8,500	30	鎌倉芸術館「会議室1」	
3月	14日(火) 第5回フルハーネス特別教育	8,500	24	建災防「会議室」	

2. 主要行事

開催日	行事名	会員受講料(円)	募集人員(名)	会場	備考	
9月	5日(月) 全国労働衛生週間横浜西地区推進大会	2,000	100	保土ヶ谷区公会堂		
10月	19日(水)～21日(金) 全国産業安全衛生大会	一般	16,500	30	福岡市	中災防主催
		中災防会員	8,250			
11月	18日(金) 神奈川労働安全衛生大会	0	30	オンデマンド方式	協会本部主催	
1月	6日(金) 安全祈願祭、経営者セミナー、賀詞交換会	10,000	70	鎌倉鶴岡八幡宮、KOTOWA鎌倉鶴岡会館		

※講習会等の日程は会場予約抽選結果により、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

労協 横浜西

検索

◆印の受講料はテキスト代加算あり
備考欄：○印は藤沢支部との共催

役員・事務局だより

ご安全に! 会員の皆様には2021年度の事業運営に多大な協力を頂きまして感謝申し上げます。

コロナ禍での行動変容が続くなか、重要な年間行事の中止や講習会等の規模縮小による運営で財政も厳しい状況になりました。今年度も厳しい状況が続くことが予想されますが、5月19日の通常総会において満場一致で承認された事業計画及び予算に基づいて進めて参ります。

横浜西労働基準監督署のご助言とご指導ならびに会員皆様のご支援、ご協力により質の高い事業運営と、より一層のサービス向上に努めてまいります。

本年度も何卒よろしく申し上げます。

(横浜西支部事務局長 飯島 輝夫)

編集後記

今年も、新入社員を迎える季節となり、周囲とは明らかに違うフレッシュ感、見守る我々も、新鮮な気持ちにさせてくれます。

先日、新入社員に、安全教育をする機会をいただきました。安全健康についての話に加え、自分の会社人生での失敗などエピソードを話しました。まったく違う世代の若い頃の話にリアクションは様々でしたが、その真剣な眼差しは、新人独特のオーラに包まれ、話すこちらに若さとパワーをもらった感じがしました。

かくいう自分も期待と不安を抱きながら新社会人として、スタートを切っておよそ30年、あっという間に過ぎ去りましたが、健康には多少不安はありますが無事故無災害でここまでこれました。彼らが安全、健康で会社人生を送れるよう、今後もしっかりサポートしたいと思います。

本誌では、今年度も会員の皆様に有益な情報を発信して参りますのでよろしくお願ひします。

(広報部長 芝浦メカトロニクス(株) 篠崎 勇)